

「市民の本棚」をめざして 本の収集と保存

選書 本を選ぶ

図書館の新作図書コーナーには毎週新しい本が加えられていることをご存知でしょうか。館の規模や週により異なりますが、図書館では、毎週、各館五〇冊から二〇〇冊ぐらいの本を新たに購入し、2〜3か月間、新作図書コーナーに置いていきます。

購入する本は、毎週、各図書館の担当者が集まって選書会議を開き、協議して選んでいます。

選書は、図書館が地域住民の方々の共同の本棚・書斎であることをめざして、「西東京市図書館資料収集基準」に基づいて行います。

具体的には、まず、週ごとの新刊図書の出版情報(約一五〇〇〜二〇〇〇冊)や新聞等の書評に加え、毎日寄せられる利用者からのリクエストを

確認します。利用者にも選書に参加していただくという意味から、この確認はとて大切で、その本の内容や予約数、多くの利用が予測できるか、調べものにも役立つか、文学、人文科学・社会科学・自

然科学、趣味・実用書などの各分野において偏りが無いか等を分析・検討します。さらに、公共図書館に必要と思われるもの、地域性のあるものにも留意しながら購入する本を選び、館の規模や機能、役割に応じて所蔵する館や購入冊数を決定していきま

担当職員は、本の貸出状況(どのような本がよく利用されているか)や社会の動きなどにも注意をはらい、利用者のニーズの把握に努めています。例えば、今後、活発な議論が予想される憲法改正については、偏ることなくさまざまな立場の論者の著作をそろえるようにしていますし、団塊の世代の方々の利用を想定して、退職に伴う各種手続き方法やセカンドライフに関する本を購入しています。なお、限られた予算の中で多様なニーズに添えていくために、予約が多数集中している本の購入については、一定数にとどめさせていただいています。

毎週この選書の積み重ねにより、市民の財産となる図書館の蔵書が形づくられていくこととなりますので、図書館業務の中でも、非常に重要な役割を担っています。

本の保存と蔵書更新
魅力ある本棚へ

選書と同じく重要な業務として、社会の変化等に伴い利用されなくなった本を書庫に保存したり、除籍し

たりする作業があります。時間が経過しても価値が変わらない本は保存します。情報が古くなり必要性が薄れたものは、他市の公共図書館で所蔵しているか、西東京市図書館でしか所蔵していないか等、保存する重要度や今後の利用見込みなどを多角的に調査・検討して、判断します。

また、利用が多く、傷みが激しい本は、買い換え、補充します。

新刊書を購入するだけでなく、こうした作業も行うことにより、蔵書が常に新鮮なものになっていくよう、更新の努力をしています。

利用者とは多種多様な資料・情報との橋渡しをすることは、図書館の重要な役割のひとつです。そこで、次のような事業を行っています。

成人サービス ～多様な情報要求に応える～

ルに綴じたり、「新着図書案内」リストのファイルを置いたりしています。

FM西東京での新着図書紹介

地域の放送局「FM西東京(周波数84.2MHz)」で新着図書を紹介しています。毎週金曜日の午後4時5分ごろから「ま

ち情報842」の「図書館情報コーナー」に図書館職員が電話で出演し、2〜3冊の本の内容紹介と行事等のお知らせをしています。児童書や地域資料についても取り上げています。ぜひ一度お聞きになってみてください。



「大人における朗読会」

講演会や朗読会の開催

図書館では、講演会や大人を対象とした朗読会を行っています。

講演会は、利用者の方々の読書の幅を広げたり、図書館に足を運ぶきっかけとなったりすることを願って年に1回、開催しています。併せて、関連する図書の展示も行います。

朗読会は、耳で聴く読書です。「田無朗読ボランティアの会」と「保谷朗読ボランティアの会」の方々の協力により年2〜3回行っています。ぜひ一度お越しください。目で読む読書とはまた違った読書になると思います。

本を探しやすいするために 本の分類

図書館の本は、料理の本、法律の本、小説というように、同じ内容のものがまとまって書架(本棚)に並んでいます。これは、「日本十進分類法」(略称「NDC」という分類表)によって本を分類しているからです。NDCは、本を体系的に順序良く、また、取り出しやすいように配列しておくために考案されたものです。

NDCでは、本を中心的な内容(主題)によって分類し、それを0から9までの数字の組み合わせで表します。まず、本に書かれている、あらゆる知識や情報を、10項目に分け、「歴史」は

本と読者を結ぶために さまざまな情報提供

利用者とは多種多様な資料・情報との橋渡しをすることは、図書館の重要な役割のひとつです。そこで、次のような事業を行っています。

本の展示

テーマを設定し、それに合う内容の本を集め、紹介しています。違った分野の書棚から共通のキーワードの本を集めて展示しますので、新しい発見があるのではないのでしょうか。

最近では、今年から4月29日が「昭和の日」になったことにちなんで、「昭和」に関係する歴史や風俗・民俗・小説等の本を全館で展示しました。こ

NDC 第1次区分表		10項目に分けます	
0	総記 (1~9に分類できないものはすべてここに含まれる)		30 社会科学
1	哲学 (心理学、宗教を含む)		31 政治
2	歴史 (伝記、地理を含む)		32 法律
3	社会科学 (医学を含む)		33 経済
4	自然科学 (家政学を含む)		34 財政
5	技術 (スポーツ、娯楽を含む)		35 統計
6	産業		36 社会
7	芸術		37 教育
8	言語		38 風俗習慣、民俗学、民族学
9	文学	39 国防、軍事	

さらに10項目に分けます

こうして細分化していき「児童・青少年」問題」を「367.6」で表します。

近代・現代(明治以後)の日本の小説の分類記号は「913.6」です。それぞれの数字は、下記のことを表しています。

9	1	3	6
文学	日本語	小説	明治以後

※なお、西東京市図書館では近代・現代の日本の小説類はラベルを貼らないで、本を著者名の50音順に並べています。

- 360 社会
- 361 社会学
- 362 社会史、社会体制
- 363 社会保障
- 364 生活・消費者問題
- 365 労働経済、労働問題
- 366 家族問題、男性・女性問題、老人問題
- 367 社会病理
- 368 社会福祉
- 369

主題の本や関連する本がまとまって置かれるようになります。

図書館では、このような分類順を基本としながら、みなさんが利用しやすいように、書架の位置や人の動きを考えて、本を配列しています。例えば、旅行ガイドや料理、手芸などの実用書コーナーを設けたり、育児と命名の本と一緒に置いたり、それぞれの館で工夫しています。

分類記号は書架にも表示してあります。また、館内利用者用検索機や図書館ホームページ上の本の情報欄にも載っています。本を探すときの手がかりにしてください。

なお、お探しの本が見つからない時は、お気軽に職員にお尋ねください。

平成18年度ベストリーダー

順位	書名	著者	出版者
1	ハリー・ポッターと謎のプリンス 上下巻	J. K. ローリング	静山社
2	魂萌え!	桐野夏生	毎日新聞社
3	容疑者Xの献身	東野圭吾	文藝春秋
4	孤宿の人 上下巻	宮部みゆき	新人物往来社
5	ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 上下巻	J. K. ローリング	静山社
6	ダ・ヴィンチ・コード 上下巻	ダン・ブラウン	角川書店
7	対岸の彼女	角田光代	文藝春秋
8	陰日向に咲く	劇団ひとり	幻冬舎
9	生協の白石さん	白石昌則	講談社
10	震度0	横山秀夫	朝日新聞社

昨年の4月から今年の3月までの一年間に、西東京市図書館でよく借りられた本を紹介いたします。(人気の本は、予約が多く、お待たせする場合があります。)

れからも随時、関心の高いものや知的好奇心を呼び起こすもの等をテーマにして、行っていきます。

情報紙「今月の本棚」の発行

今年の6月より、「今月の本棚」と題して新しい情報紙を発行しています。毎月テーマを設けて10冊程度の本の簡単な紹介をします。

新着図書の案内

新しく入った本については、背表紙をコピーして掲示したり、ファイ